

# 行政視察報告書

総務委員会行政視察

平成30年8月1日(水)～3日(金)

視察先 及び 視察事項	・平成30年8月1日(水)	
	福岡県北九州市	1 スタジアム整備事業について
		(1) スタジアム整備の経緯、施設の概要
		(2) PFI事業によるスタジアム整備
		ア PFI等の事業方法の検討について
		イ 同事業に係る特定事業の選定に当た るの客観的評価について
		ウ PFI事業による整備後の市全体への効 果と課題について
	・平成30年8月2日(木)	1 鹿児島市・松本市文化・観光交流協定について
	鹿児島県鹿児島市	(1) 職員交流事業
		(2) 観光未来戦略(都市間交流を中心に)
		2 世界文化遺産登録について
		(1) ユネスコ世界遺産委員会への対応
		(2) 市民との協働行動計画の推進
		(3) 受入体制の整備

福岡県北九州市

スタジアム整備事業について

(ミクニワールドスタジアム北九州)

ア) 整備の経緯、施設概要

・H21～22基本方針の策定 H23～24整備方針の策定

H24～25事業計画の策定 H26 PFI事業者の公募、選定 H29完成

・市民に夢と感動を！ 子供に元気と目標を！まちに誇りとにぎわい！

・H19.4月関係団体からの要望、H20.3北九州市スポーツ振興審議会からの提言、  
H21.3月ノリーグニューウェブ北九州がJFLを勝ち抜きJリーグに昇格、ギラヴァンツ北九州と  
名を変更

・15,000人収容、2万以上の建設も可能

イ) PFI事業によるスタジアム整備

・約115億円(設計・建設99億円、管理・運営15億円(15年))

・事業者…(株)ウインドシップ北九州 管理:(株)九電工、(株)梓設計、本体建設管理:奥林  
組、共同管理:美津野(株)、施設管理:日本施設協会

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P F I 採用の理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>①経済性…民間活動を生かしスケールメリット、財政の平準化、建設費削減</li> <li>②周辺の ホテル、国際会議場、展示場などとの連携、ノウハウの有効活用</li> <li>③自主事業への期待…市民参加型の利用</li> </ul> </li> <li>・ ネーミングライツ事業 ①ミクニワールドスタジアム北九州</li> </ul>
<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日鉄、住金より土地借用。年2, 000万円の支出に対し、ネーミングライツ事業で年3, 000万円収入</li> <li>・ 経費1.5倍を要し、新幹線小倉駅周辺の賑わいを創出する。</li> <li>・ 市長公約での評価手続き2回を経て外部評価</li> <li>・ 建設費99億円のうち30億円はt o t oくじ助成金</li> <li>・ 43年返済の長期起債ゆえ財政負担平準化</li> </ul>
<p>鹿児島市</p>
<p>ア) 鹿児島市 松本市文化交流事業について</p>
<p>①職員交流事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 城下町として歴史自然に恵まれた鹿児島市と松本市が平成29年9月16日文化・観光交流協定を締結したこと契機に、さらなる相互理解深め、職員派遣し、政策形成能力向上など人材育を図ること目的とする。</li> <li>・ 鹿児島市から松本市へは4人が派遣され、本人の希望も取り入れ、期間1年でH27. 4月から受け入れている。</li> <li>・ 松本市からは3人が派遣され、1人は2年間派遣されている。</li> </ul>
<p>②連携・協力事項</p>
<p>1、文化芸術を通じた交流促進に関すること。</p>
<p>2、観光振興に向けた施策推進に関すること。</p>
<p>3、市民交流促進に関すること。</p>
<p>4、交流にあたっての民間活力を誘導する取り組みに関すること。</p>
<p>所感</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ交流事業も行われているが今一步広報されていない様に思う。</li> <li>・ 職員の交流事業については、双方希望もあるし遠隔地で気候の違いもあるので、無理をしない事が大切と思う。</li> <li>・ 民間交流を主とし観光も兼ねての交流としたら。</li> </ul>
<p>イ) 世界文化遺産登録について</p>
<p>①ユネスコ世界遺産委員会への対応</p>
<p>H20年10月 関係自治体による世界遺産登録推進協議会を設置</p>

H21年 1月	ユネスコの世界遺産暫定一覧表へ追加記載
H26年1月末	ユネスコへ推薦書を提出
H26年9月26日	
～10月26日迄	ユネスコ諮問期間であるイコモスによる現地調査
H27年 5月	イコモスによる「記載」勧告
H27年7月5日	第39回ユネスコ世界委員会において登録決定 ドイツのボン
7月8日	世界遺産一覧表への記載
<p>関係自治体（世界遺産登録推進協議会）とは、8県（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、鹿児島県、山口県、岩手県、静岡県）、11市（北九州市、大牟田市、中間市、佐賀市、長崎市、荒尾市、宇城市、鹿児島市、萩市、釜石市、伊豆の国市）</p>	
<p>28年4月に「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会へ名称変更した。</p>	
<p>②鹿児島市の取り組み「明治日本の産業革命遺産」</p>	
<p>1、旧鹿児島紡績所技師館（異人館）</p>	
<p>2、旧集成館機械工場（尚古集成館本館）</p>	
<p>3、 〃 反射炉跡 ものづくり日本の出発点、洋式工場 群</p>	
<p>4、寺山炭窯跡 島津斉彬公の意志を受け継ぐ</p>	
<p>5、関吉の疎水溝 日本の在来技術と洋式技術の応用</p>	
<p>③全国8県、11市に広がる構成資産</p>	
<p>関係自治体の所で述べた様に相互に密接な関連性があり、群として全体で一つの価値がある資産としてユネスコ世界文化遺産に登録された。</p>	
<p>平成30年9月3日</p>	
<p>松本市議会議長 上條 俊道 様</p>	
<p>総務委員会委員 大久保 真一</p>	